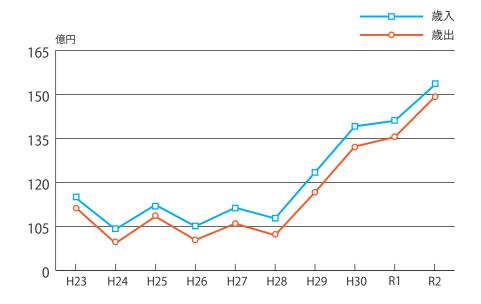
●過去 10 年の歳入、歳出の決算規模

令和2年度決算は、前年度と比較して歳入は12億2,104万円増加、 歳出は13億6,633万円増加となりました。

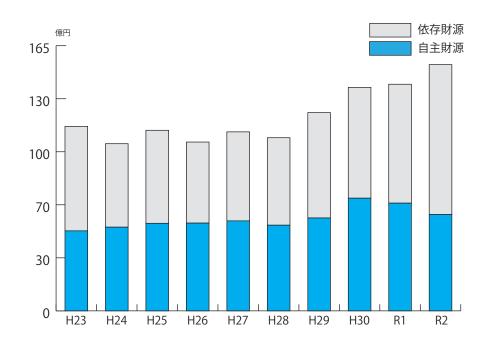


令和2年度 決算概要

令和2年度の町の収入と支 出の実績を表す決算が、町議会 定例会9月会議で認定されまし た。一般会計では歳入が約153 億円、歳出が約149億円となり ました。ここでは決算の概要に: ついて紹介します。

麣 依存財源 自主財源 59億9,299万円(39.1%) 93億3,036万円(60.9%) 国や県などから入るお金 町が自ら収納できるお金 町税 国庫支出金 38億2,983万円(25.0%) 47億4,633万円(31.0%) 町民の皆さんから町に納めて 事業に対する国からの補助金 いただいた税金 地方交付税 寄附金 20億581万円(13.1%) 6億1,842万円(4.0%) 町の財政力に応じて、国から 町へ贈与されたお金 交付されるお金 ふるさと納税も含まれます 咸 153億2,335万円 繰越金 県支出金 5億5,910万円(3.7%) 9億5,758万円(6.3%) 前年度の会計から繰り越されたお金 事業に対する県からの補助金 繰入金 交付金·譲与税等 5億3,389万円(3.5%) 9億3,763万円(6.0%) 基金(町の貯金)を取り崩して 町民の皆さんが国や県に 繰り入れるお金 収めた税金が町へ交付・贈与 されたもの 諸収入 1億5,988万円(1.0%) その他 分担金および負担金 1億4,271万円(0.9%) 6億8,301万円(4.5%) 4億5,175万円(2.9%) 使用料および手数料 8,041万円(0.5%) 公共投資などに伴う町の借金 財産収入 6,875万円(0.5%)

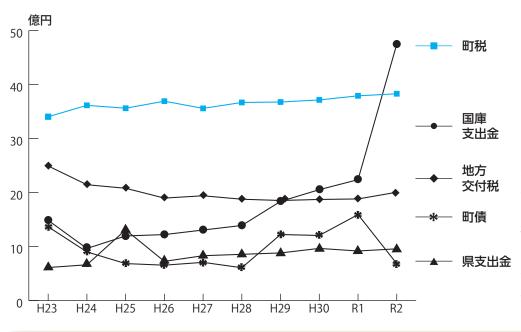
財源の推移



歳入に占める、自主財源 と依存財源の割合です。自 主財源の割合「自主財源比 率」が高いほど、国や県な どへの依存度が低く、財政 が健全と判断できる一つの 基準となります。

令和2年度は、自主財源 比率は39.1%で前年度比 8.5 景減少。依存財源比率は 60.9%で前年度比8.5 昇増 加。近年、依存財源比率が 増加しています。

主な歳入科目の決算額推移



町税は個人町民税、固定 資産税等が増収となったこ とで、前年度比約 3,800 万 円増加し、高い数値を維持 しています。町債は公共事 業や学校施設整備事業など の経費が減となり、前年度 比約9億1千万円減少。国 庫支出金は特別定額給付金 や新型コロナウイルス感染 症対応への国庫補助などに より、前年度比約25億1 千万円増加し、増加傾向が 続いています。

出額 当たりの歳 (令和3年3月31日の人口26,979人で算出)

